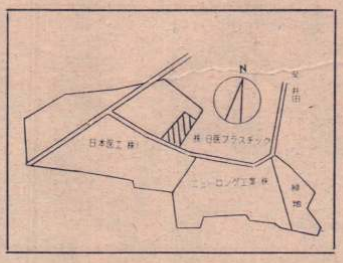
活力のある産業のまちづくり

手前右側がニューロング工業（株）　左側が日本医工（株）

二井田の工業団地に「日医プラスチック」を誘致

市では、今年三月に策定した「大館市総合開発計画」に基づいた〝活力ある産業のまちづくり〟に積極的に取り組んでいます。今月一日には二井田の工業団地に、市の誘致企業としては八番目の「株式会社日医プラスチック」を誘致しました。また、市内の企業対策としては、企業の経営安定と設備の近代化を図るため、市の融資あっせん制度や各種預託金などを大幅改定しています。そして今後の企業誘致や地場産業の育成を図るため「地域振興対策プロジェクトチーム」を設置するなどして活力のある産業のまちづくりのために全力をつくしています。



二井田の県土地開発公社の工業団地に、ニューロング工業、日本医工に次ぐ誘致企業として「株式会社日医プラスチック」を誘致しました。

日医プラスチックは、埼玉県大宮市の「プラスチック本田」の現地法人で、日本医工の関連会社として設立されたものです。

同社が生産する品目は、注射器の部品など医療用のプラスチック製品で、一〇〇％が日本医工に納入されることになっています。

工場建設の概要は、建設地が日本医工の北側の七千五百九十平方㍍の敷地に、九百九十平方㍍の建物。工場の建設工事には今月下旬ごろ着工し七月から従業員十五人（男子十一人、女子四人）で操業を開始し、年間販売額三億二千三百万円を予定しています。将来は、従業員五十人、年間十五億円の販売額を見込んでいます。

市では、今後この工業団地の拡張をしての企業誘致を推進するためと、地場産業の育成のための団地化、共同化を図るなどの目的で、市役所商工観光課内に「地域振興対策プロジェクトチーム」を設置しました。

日医が生産開始

昨年四月から工事を進めていた「日本医工株式会社」の新工場がこのほど完成し、四月一日から医療器具の一部生産を開始しました。

同社は、大阪に本社のある「株式会社ニッショー」の現地会社として設立されたもので、資本金が二億五千万円、注射針や輸液セットなどの医療器具を生産します。

完成した新工場は、七万三千平方の敷地に三万二千七百平方㍍もの広大な建物で、明るく衛生的なものとなっています。従業員は男子百五十人、女子百人あわせて二百五十人ですが、今後の生産計画に基づいて、雇用や生産品目を増やしていくことになっています。

市の融資、預託金制度
保証料などを大幅改定

市では、市内の中小企業の経営安定と設備の近代化を図るため、五十六年度から市の融資あっせん制度や機械類貸付制度などを大幅に改定しました。

改定した内容は次のとおりです。

◆中小企業融資あっせん制度

いままでの保証料（〇・九％）は、市と企業がそれぞれ二分の一でしたが、今年度からは保険料は市が全額負担します。

・資　格　市内に一年以上住所または事業所を有し中小企業信用保険法に該当する事業を営む方で市税を完納している方

・融資額　三百万円まで

・貸付期間　運転資金、設備資金――五年以内

◆機械類の貸付制度

いままでの貸付限度額は一企業二百万円でしたが、二百五十万円に引き上げました。

・対　象　市内に一年以上工場や事業所を有する中小企業の方

・受　付　随時

◆商工中金への預託金

商工組合中央金庫の大口融資を必要とする方に、同金庫への預託金を八千万円から一億円に拡大しました。

◆労働金庫への預託金

・労働組合を組織していない会社などで働いている方のため生活資金貸付金として一千万円を預託しています。

・勤労者住宅生協へは、マイホーム購入のために五千万円を預託しています。

※申し込みや詳しいことについては市役所商工観光課へお問い合せください。
☎49―3111内線283

人事異動

四月一日付・課長・○内は前職

▽職員課長・伊多波浩政（水道課長）　▽保険年金課長・渡辺二郎（青少年ホーム館長）　▽勤労青少年ホーム館長・大川修一（卸売場長）　▽土木課長・菅純一郎（中央公民館長）　▽保健センター所長・佐藤賢次（出納室長）　▽環境保護課長・山本礼治（都市開発課長補佐）　▽市民相談室長・三浦正孝（総務課長補佐）　▽卸売市場長・虻川公昭（農林課長補佐）　▽養護老人ホーム所長・成田伝蔵（市民相談室長）　▽出納室長・柳原正雄（図書館長補佐）　▽水道課長・岩沢吉蔵（職員課長）　▽学校教育課長・伊藤昭二郎（県職員）

市長のメッセージ №29

不順な天候で先行きが心配されますが、それでもようやく春らしくなりました。新入学の皆さんや家族の方々に心からお祝い申し上げます。

ご協力ありがとうございました

春の火災予防運動、交通安全運動に多くの市民の方々から深いご理解、ご協力、そしてご参加をいただきましてありがとうございました。お陰様で大きな成果が得られました。この二つの運動は期間中の成果だけを求めるものではありません。一年を通じて市民の生命と財産が災害と交通事故から守られるように、行政と市民が意をあらたに認識し、誓い合おうとするものですので今後とも運動期間の延長のつもりでご協力いただきますようお願いいたします。

「災害は忘れたころにやってくる」ということわざの如く、心の少しのゆるみすきま風に事故は起こります。とすれば、常に心に余裕がなければなりません。せわしい毎日、バタバタした行動ではなく「ゆとりのある生活」こそが事故や災害を未然に防ぐ根本であると考えます。

健丈な子を

さあ春です。厳冬での運動不足を大自然の中で回復しましょう。

大人として、親として子供たちに多くの期待を寄せることは当然ですが、その期待の内容が問題ではないでしょうか。「健全な身体にこそ、豊かな心が宿る」ものではないでしょうか。子供の遊び、スポーツは学習以前の大切なことと理解し合いたいものです。かといって放任しておくことであってはならないとも思います。私たち大人の社会は、子供たちにとって決して良い環境にはなっておりません。その結果が非行や暴力という社会問題を起こしているのでしょう。

今年度秋田県警から大館署管内が「環境浄化推進指定」を受け、市民の協力をいただき良い環境づくり活動をすすめていただくことになりました。大変有意義なことであり、ありがたいことだと存じます。

それより先の青少年問題協議会での話し合いでも当市が「環境浄化都市宣言」をして全市民参加で子供たちにとっての良い生活環境づくりの街にしようと決定をいただき、どんな運動をしようかと計画をつくっているところです。

陽気についほだされ、気のゆるみが問題を起こすキッカケになりかねません。皆さまからの良い環境づくりのためのご意見をお寄せいただければ幸いです。

（市役所　市民相談室まで）

畠山健治郎

こんにちは保健婦です

―不　眠―

なかなか寝つかれない、寝ついてもすぐ目がさめてしまう、眠りが浅く熟睡できないという訴えを多く聞きます。

不眠には、気疲れから眠れない場合と、病気があるために眠れない場合とがあります。

「眠れない」という訴えはさまざまで、ふとんを日に干したら熟睡できた、という例もあります。不眠ノイローゼや不眠神経症で眠れない場合は、本人が眠れないと感じているだけで、必要な睡眠をとっているケースが多いようです。

▽気にしないで運動を

「眠れない」ことでくよくよせずに、運動などで適度に体を疲れさせると、体が休養を要求するようになります。入浴、夜食、寝酒も効果があります。入浴は心身の緊張をときほぐし、うどんなどの軽い夜食をとると、脳にたまった血液が胃に集まり脳が休まりますお酒は、少量なら脳の緊張が解きほぐれ、ぐっすり眠れます。

▽不眠が長期間続いたら

神経症や高血圧症などの血管の病気があるとき、あるいは糖尿病などの場合は、夜、排尿のために目がさめて眠れなくなることもあります。

不眠が長く続くようなときは、医師の診断を受けることが大切ですが、もし睡眠薬をもらったら、必ず医師の指示どおりに飲むこと眠れないからといって、勝手に量を増やしたりしないよう気をつけましょう。

〝春の防犯運動〟四月十九日～五月十八日